

平成 19年 3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)



平成 19年 1月 31日

上場会社名 旭化成株式会社

(コード番号：3407 東京・大阪・名古屋 各第1部・福岡・札幌)

(URL <http://www.asahi-kasei.co.jp/>)

代表者 代表取締役社長 蛭田 史郎

問合せ先責任者 広報室長 水野 雄氏

TEL (03) 3507 - 2060

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有（法人税や引当金の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。）
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の 変更の有無：無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無：有 連結（新規）4社（除外）0社 持分法（新規）1社（除外）3社

2. 平成 19年 3月期第3四半期の業績概況（平成 18年 4月 1日 ~ 平成 18年 12月 31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (注) 百万円未満の金額は、四捨五入して表示している。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年 3月期第3四半期	1,187,059	8.8	94,187	15.4	93,528	15.8
18年 3月期第3四半期	1,090,749	7.8	81,630	8.9	80,785	8.5
(参考) 18年 3月期	1,498,620		108,726		104,166	

	四半期（当期）純利益		1株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
19年 3月期第3四半期	56,851	22.0	40	62		
18年 3月期第3四半期	46,581	0.3	33	25		
(参考) 18年 3月期	59,668		42	46		

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年 3月期第3四半期	1,485,102	644,113	42.9	454 88
18年 3月期第3四半期	1,412,554	574,098	40.6	410 09
(参考) 18年 3月期	1,376,044	594,211	43.2	424 34

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年 3月期第3四半期	70,306	69,601	4,207	85,417
18年 3月期第3四半期	37,198	41,466	12,148	76,712
(参考) 18年 3月期	108,620	60,373	30,881	86,390

3. 平成 19年 3月期の連結業績予想（平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	1,617,000	121,000	68,000	48 60

上記予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれております。上記予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

経営成績及び財政状態（9ヶ月の累計）

(1) 経営成績

業績全般

当第3四半期（平成18年4月～12月）における日本経済は、民間企業の設備投資の増加や企業生産の緩やかな拡大が続き、戦後最長の「いざなぎ景気」を超える景気拡大基調にありました。しかし、事業を取り巻く環境は、原燃料価格の高止まりや、個人消費の伸び悩み、中国をはじめとする世界市場での競争激化など、予断を許さない状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期における連結業績は、原燃料価格高騰の影響により製品販売価格が上昇したケミカル事業が売上を伸ばしたことなどから、売上高は1兆1,871億円で、前年同期比963億円（8.8%）の増収となり、営業利益は942億円で、前年同期比126億円（15.4%）の増益となりました。また、経常利益は935億円で、前年同期比127億円（15.8%）の増益となり、当四半期純利益は569億円で、前年同期比103億円（22.0%）の増益となりました。

セグメント別概況

当社グループの主要事業別の営業状況について、7つの事業会社に対応した事業セグメントに「サービス・エンジニアリング等」を加えた8つのセグメントに区分してご説明します。

<ケミカルズ>セグメント・・・ケミカル事業

売上高は5,562億円で、前年同期比661億円（13.5%）の増収となり、営業利益は370億円で、前年同期比26億円（7.6%）の増益となりました。

汎用事業（モノマー系事業、ポリマー系事業）は、原燃料価格高騰によるコスト上昇分を製品価格へ反映すべく価格改定に努めたことや、ナイロン66樹脂・繊維「レオナ™」や、その原料となるアジピン酸などのナイロン関連製品が好調に推移したことなどから、増収・増益となりました。

高付加価値系事業は、リチウムイオン二次電池用の微多孔膜「ハイポア™」が販売量を伸ばし、イオン交換膜事業において、中国向け電解プラントの輸出と電解膜の販売量が増加するなど、膜関連事業が好調に推移したことなどから、増収・増益となりました。

<ホームズ>セグメント・・・住宅事業

売上高は2,757億円で、前年同期比1億円（0.1%）の増収となりましたが、営業利益は143億円で、前年同期比1億円（0.7%）の減益となりました。なお、当第3四半期の建築請負事業の受注実績については、前年同期比42億円減少し、2,220億円となりました。

住宅事業は、戸建住宅の引渡戸数減少の影響を受け建築請負事業の売上が減少しまし

たが、リフォーム・不動産事業などの住宅周辺事業が堅調に推移したことなどから微増収となりました。営業利益は、分譲事業における大型分譲マンションの竣工や住宅周辺事業の増益があったものの、戸建住宅の引渡戸数減少の影響を補いきれず、若干の減益となりました。

<ファーマ>セグメント・・・医薬・医療事業

売上高は809億円で、前年同期比1億円(0.2%)の減収となりましたが、営業利益は144億円で、前年同期比44億円(43.8%)の増益となりました。

医薬・医療事業は、薬価や償還価格引下げの影響を受けたことなどから微減収となりましたが、排尿障害治療薬「フリバスTM」やポリスルホン膜人工腎臓「APSTM」が販売数量を増やしたことや、ライセンス収入などがあったことから、増益となりました。

<せんい>セグメント・・・繊維事業

売上高は776億円で、前年同期比121億円(18.5%)の増収となりましたが、営業利益は27億円で、前年同期比4億円(13.1%)の減益となりました。

繊維事業は、原燃料価格高騰の影響を受けましたが、製品価格の改定に努めたことや、ポリウレタン弾性繊維「ロイカTM」やセルロース繊維「ベンベルグTM」の増販、また為替の影響もあり、増収となりました。しかし、昨年3月にランクセス・グループから買収した「ドルラスタンTM」事業の赤字や昨年9月の宮崎県延岡市における竜巻被害の影響などから、減益となりました。

<エレクトロニクス>セグメント・・・エレクトロニクス事業

売上高は857億円で、前年同期比97億円(12.8%)の増収となり、営業利益は185億円で、前年同期比41億円(28.4%)の増益となりました。

エレクトロニクス事業は、競争激化による販売価格の下落や、一部の最終製品の在庫調整による販売量の減少などの影響を受けたものの、全般的には旺盛なデジタル機器需要を背景に、電子材料系事業・電子部品系事業が共に好調に推移したことから、増収・増益となりました。

<建材>セグメント・・・建材事業

売上高は476億円で、前年同期比37億円(8.5%)の増収となり、営業利益は49億円で、前年同期比12億円(32.3%)の増益となりました。

建材事業は、堅調な建設需要を背景に、軽量気泡コンクリートパネル(ALC)「ヘーベルTM」や中小規模建築向けパイル工法「EAZETM」が堅調に推移し、高機能断熱材「ネオマTMフォーム」が販売量を伸ばしたことなどから、増収・増益となりました。

<ライフ&リビング>セグメント・・・生活製品関連事業

売上高は413億円で、前年同期比3億円(0.8%)の増収となりましたが、営業利益は43億円で、前年同期比2億円(5.2%)の減益となりました。

生活製品関連事業は、「サランラップ™」や「サラン™繊維」の販売量が伸びたことなどから増収となりましたが、広告宣伝費が増加したことや原燃料価格高騰の影響を強く受けたことなどから、減益となりました。

<サービス・エンジニアリング等>セグメント

売上高は220億円で、前年同期比43億円(24.4%)の増収となり、営業利益は30億円で、前年同期比13億円(71.4%)の増益となりました。

サービス・エンジニアリング等では、エンジニアリング事業が好調に推移したことなどから、増収・増益となりました。

通期の見通し

平成18年10月31日に発表しました通期の業績予想に対し、ケミカル事業で海外市況の改善やナフサ価格の下落により増収増益となる見込みであることや、全般的な経費削減などにより単体でも若干の増益となることなどから、通期の業績予想(連結、単独)を下記の通り上方修正致します。

なお、当期末の配当金につきましては、6円の配当予定を1円増配の7円とし、中間配当金の5円とあわせて、1株当たりの年間配当金を12円とさせていただきます。

連結

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,612,000	115,000	112,000	64,000
今回発表予想(B)	1,617,000	125,000	121,000	68,000
増減額(B-A)	5,000	10,000	9,000	4,000
増減率	0.3%	8.7%	8.0%	6.3%
〔参考〕前期(平成18年3月期)実績	1,498,620	108,726	104,166	59,668

単独

(単位：百万円)	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	42,500	26,000	26,500	28,500
今回発表予想(B)	42,500	27,000	27,500	29,000
増減額(B-A)	-	1,000	1,000	500
増減率	-	3.8%	3.8%	1.8%
〔参考〕前期(平成18年3月期)実績	42,649	27,410	27,013	29,010

(2) 財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等

財政状態

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べて1,091億円増加し、1兆4,851億円となりました。その主な要因は、ケミカル事業で原燃料価格高騰の影響や売上高の増加があったことや四半期末日が金融機関の休日であったことなどにより、受取手形及び売掛金が480億円増加したこと、また住宅事業の工事在庫が増加したことなどにより棚卸資産が417億円増加したことなどによるものです。

有利子負債は、主として季節的な資金需要に対応するためにコマーシャル・ペーパーを発行したことなどにより前期末に比べて108億円増加し、2,467億円となりました。

純資産は、前期末の6,011億円(前期末の資本の部合計に少数株主持分を加算した金額)から430億円増加し、6,441億円となりました。しかし、総資産の増加率が自己資本の増加率より大きかったことから、自己資本比率は前期末の43.2%から42.9%に下がりました。

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益910億円や減価償却費524億円などの収入があった一方で、売掛債権の増加額441億円や、棚卸資産の増加額392億円などがあったことから、差し引き703億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得660億円などの投資を実施したことなどにより、696億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、コマーシャル・ペーパーの発行などによる資金調達102億円があった一方で、親会社による配当の支払い140億円などがあったことから、差し引き42億円の支出となりました。これらの結果、当第3四半期の現金及び現金同等物の期末残高は、前期末より10億円減少し、854億円となりました。

以上

(要約)連結損益計算書

(平成18年4月1日~平成18年12月31日)

科 目	当第3四半期(9ヶ月)		前第3四半期(9ヶ月)		増減額		前同 期比	(参考)平成17年度
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	金 額		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	
I 売 上 高	1,187,059	100.0	1,090,749	100.0	96,310	8.8	1,498,620	
II 売 上 原 価	891,871	75.1	815,392	74.8	76,479	9.4	1,127,530	
売 上 総 利 益	295,188	24.9	275,357	25.2	19,831	7.2	371,090	
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	201,001	17.0	193,727	17.7	7,274	3.8	262,364	
営 業 利 益	94,187	7.9	81,630	7.5	12,557	15.4	108,726	
IV 営 業 外 収 益	(7,009)	0.6	(6,082)	0.5	(927)	15.2	(7,416)	
受 取 利 息	337		302		35		438	
受 取 配 当 金	2,257		1,958		299		2,215	
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	1,865		1,045		820		536	
雑 収 益	2,550		2,777		227		4,227	
V 営 業 外 費 用	(7,669)	0.6	(6,926)	0.6	(743)	10.7	(11,976)	
支 払 利 息	2,880		2,635		245		3,570	
雑 損 失	4,788		4,291		497		8,406	
経 常 利 益	93,528	7.9	80,785	7.4	12,743	15.8	104,166	
VI 特 別 利 益	(2,053)	0.2	(1,874)	0.2	(179)	9.6	(5,880)	
固 定 資 産 売 却 益	786		1,782		996		5,670	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	1,267		-		1,267		-	
そ の 他	-		92		92		210	
VII 特 別 損 失	(4,597)	0.4	(7,742)	0.7	(3,145)	-40.6	(15,565)	
固 定 資 産 処 分 損	4,412		1,942		2,470		7,039	
減 損 損 失	-		3,799		3,799		3,799	
構 造 改 善 費 用	-		1,269		1,269		3,171	
そ の 他	185		731		546		1,557	
税金等調整前四半期(当期)純利益	90,984	7.7	74,918	6.9	16,066	21.4	94,481	
法 人 税 等	33,740	2.9	28,085	2.6	5,655		34,546	
少 数 株 主 損 益	損 393	-0.0	損 252	-0.0	損 141		損 267	
四 半 期 (当 期) 純 利 益	56,851	4.8	46,581	4.3	10,270	22.0	59,668	

監査法人による監査は受けていません。

(要約)連結貸借対照表

(平成18年12月31日現在)

科 目	当第3四半期末		前年度末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	金額
(資産の部)	百万円	%	百万円	%	百万円
流動資産	(738,427)	49.7	(644,192)	46.8	(94,235)
現金及び預金	85,094		86,422		1,328
受取手形及び売掛金	317,495		269,509		47,986
有価証券	519		446		73
棚卸資産	255,735		214,062		41,673
その他	79,584		73,753		5,831
固定資産	(746,674)	50.3	(731,852)	53.2	(14,822)
有形固定資産	432,347		414,368		17,979
無形固定資産	28,821		33,094		4,273
投資その他の資産	285,507		284,390		1,117
資産合計	1,485,102	100.0	1,376,044	100.0	109,058

科 目	当第3四半期末		前年度末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	金額
(負債の部)	百万円	%	百万円	%	百万円
流動負債	(530,785)	35.7	(439,724)	31.9	(91,061)
支払手形及び買掛金	192,357		132,980		59,377
短期借入金	61,555		56,222		5,333
コマーシャル・ペーパー	30,000		-		30,000
一年以内償還予定社債	22,000		23,000		1,000
その他	224,873		227,522		2,649
固定負債	(310,204)	20.9	(335,193)	24.4	(24,989)
社債	62,000		84,000		22,000
長期借入金	71,098		72,300		1,202
退職給付引当金	128,498		131,617		3,119
その他	48,608		47,276		1,332
負債合計	840,989	56.6	774,916	56.3	66,073
(少数株主持分)					
少数株主持分	-	-	6,917	0.5	-
(資本の部)					
資本金	-	-	103,389	7.5	-
資本剰余金	-	-	79,433	5.8	-
利益剰余金	-	-	342,450	24.9	-
その他有価証券評価差額金等	-	-	86,251	6.3	-
自己株式	-	-	17,311	-1.3	-
資本合計	-	-	594,211	43.2	-
負債、少数株主持分及び資本合計	-	-	1,376,044	100.0	-
(純資産の部)					
株主資本	(550,186)	37.1	(-)	-	(-)
資本金	103,389	7.0	-	-	-
資本剰余金	79,447	5.3	-	-	-
利益剰余金	385,125	26.0	-	-	-
自己株式	17,775	-1.2	-	-	-
評価・換算差額等	(86,291)	5.8	(-)	-	(-)
少数株主持分	(7,636)	0.5	(-)	-	(-)
純資産合計	644,113	43.4	-	-	-
負債純資産合計	1,485,102	100.0	-	-	-

監査法人による監査は受けていません。

(要約)連結キャッシュ・フロー計算書

(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

科 目	当第3四半期A	前第3四半期B	増減額A - B	前年度
	(9ヶ月)	(9ヶ月)		
	金額	金額	金額	金額
	百万円	百万円	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益	90,984	74,918	16,066	94,481
減価償却費	52,382	51,220	1,162	69,399
売上債権の増加額	44,123	44,049	74	16,393
棚卸資産の増加額	39,240	32,342	6,898	11,075
仕入債務の増減額(減少:)	57,527	28,952	28,575	2,075
その他	47,224	41,500	5,724	25,715
営業活動によるキャッシュ・フロー	70,306	37,198	33,108	108,620
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	66,007	40,852	25,155	59,074
投資有価証券の取得による支出	3,184	3,521	337	6,848
その他	409	2,907	3,316	5,549
投資活動によるキャッシュ・フロー	69,601	41,466	28,135	60,373
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,207	12,148	16,355	30,881
現金及び現金同等物に係る換算差額	294	234	60	426
現金及び現金同等物の増減額(減少:)	3,209	8,113	11,322	17,792
現金及び現金同等物の期首残高	86,390	68,456	17,934	68,456
非連結子会社の連結化に伴う増加額	2,236	142	2,094	142
現金及び現金同等物の期末残高	85,417	76,712	8,705	86,390

監査法人による監査は受けていません。

1. セグメント別売上高及び営業損益(平成18年4月から12月までの累計)

(1) 連結売上高

	H19/3期	H18/3期	増減額 (A)-(B)	増減率 %
	第3四半期 9ヶ月実績(A)	第3四半期 9ヶ月実績(B)		
ケミカルズ	5,562	4,901	661	13.5
ホームズ	2,757	2,756	1	0.1
ファーマ	809	810	-1	-0.2
せんい	776	655	121	18.5
エレクトロニクス	857	760	97	12.8
建材	476	439	37	8.5
ライフ&リビング	413	410	3	0.8
サービス・エンジニアリング等	220	177	43	24.4
合計	11,871	10,907	963	8.8

(億円)

H19/3期	前期
通期 見通し	
7,440	6,604
4,070	4,045
1,040	1,058
1,070	897
1,130	1,029
620	565
530	519
270	268
16,170	14,986

(2) 連結営業損益

	H19/3期	H18/3期	増減額 (A)-(B)	増減率 %
	第3四半期 9ヶ月実績(A)	第3四半期 9ヶ月実績(B)		
ケミカルズ	370	343	26	7.6
ホームズ	143	144	-1	-0.7
ファーマ	144	100	44	43.8
せんい	27	31	-4	-13.1
エレクトロニクス	185	144	41	28.4
建材	49	37	12	32.3
ライフ&リビング	43	45	-2	-5.2
サービス・エンジニアリング等	30	18	13	71.4
中計	990	862	128	14.8
消去又は全社	48	46	-2	-
合計	942	816	126	15.4

(億円)

H19/3期	前期
通期 見通し	
485	405
285	282
150	111
35	40
230	193
50	38
45	48
40	33
1,320	1,151
70	63
1,250	1,087

(3) 連結営業損益 増減要因内訳

(億円)

	数量差	売値差	うち為替因		コスト差等	計
ケミカルズ	34	394	49		-402	26
ホームズ	-1	47	-		-47	-1
ファーマ	24	-40	5		60	44
せんい	8	7	5		-19	-4
エレクトロニクス	84	-77	6		34	41
建材	3	10	-		-1	12
ライフ&リビング	-1	4	0		-5	-2
サービス・エンジニアリング等	16	0	0		-4	13
消去又は全社	-	-	-		-2	-2
合計	167	344	64		-385	126

2. 住宅 請負事業の状況 (平成18年4月から12月までの累計)

	H19/3期	H18/3期	増減 (A)-(B)	H19/3期
	第3四半期 9ヶ月実績(A)	第3四半期 9ヶ月実績(B)		通期 見通し
受注高 (億円)	2,220	2,262	-42	3,010
受注戸数 (戸)	9,409	10,099	-690	12,821
受注残高 (億円)	3,158	3,243	-85	2,870
売上戸数 (戸)	9,060	9,266	-206	14,278
売上高 (億円)	2,101	2,119	-18	3,180

3. その他の項目

	H19/3期	H18/3期	増減 (A)-(B)	H19/3期
	第3四半期 9ヶ月実績(A)	第3四半期 9ヶ月実績(B)		通期 見通し
ナフサ価格 (国産ナフサ(¥/kl))	50,300	41,100	9,200	49,600
為替レート (相場平均(¥/\$))	116	112	4	116

4. 有利子負債

(億円)

	当第3四半期末 実績(A)	前年度末 実績(B)	増減額 (A)-(B)
短期借入金	616	562	53
コマーシャル・ペーパー	300	-	300
一年以内償還予定社債	220	230	-10
社債	620	840	-220
長期借入金	711	723	-12
割引手形	0	3	-3
合計	2,467	2,358	108

以上